

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 350

事務事業名	農業施設維持管理事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040103	魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	小森 信親	内線	258

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市農村環境計画	
重点事業		

会計	一般会計		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	5	農地費	
事業コード	020000	農業施設維持管理事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	市有ため池(44か所)・水路・防災ダム(1か所)		
意図	市有ため池の補修、水路の補修、防災ダムの維持管理を実施することで、農業経営の安定を図る。		
事業概要	市有ため池の補修、水路の補修、防災ダムの維持管理を行う。		
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	土地改良法(第94条の10)、法定外公共物管理条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 修繕件数	計画値	6	6	6	6	計画地は予算計上修繕予定件数
		実績値	23	18	19		
		達成度	383.3%	300.0%	316.7%		
活動指標	② 防災ダムの点検・巡回回数	計画値	50	50	50	50	H21年度から点検・巡回回数を指標とする。(月4回+異常降雨時2回)
		実績値	50	50	50		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 苦情、要望件数	計画値					
		実績値	23	18	19		
	達成度	%					
	②	計画値					
	実績値						
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	9,667	10,267	18,590	7,684	7,170	7,170	7,170	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	13	17	15	12	9	9	9	
一般財源	9,654	10,250	18,575	7,672	7,161	7,161	7,161	
② 人件費(千円)	1,389	2,409	2,743	3,445	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.17	0.31	0.33	0.46	ため池・水路維持管理・防災ダム維持管理	ため池・水路維持管理・防災ダム維持管理	ため池・水路維持管理・防災ダム維持管理	
時間外勤務(時間)	19	33	208	50				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	11,056	12,676	21,333	11,129				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	近年、集中豪雨による農業施設の被災や施設の老朽化により近隣土地への二次災害を招く事案が多く発生している状況にある。その改修や修繕に伴う費用について、地区要望に係る補正予算を確保し実施した。 H28年度から受益面積0.5ha未満のため池調査を実施した。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	里道・水路等において、農地の耕作放棄により利用されない施設の維持管理が適正に行われず、集中豪雨等による崩壊や溢水等により、周辺への被害を招く事案が多発している。 今年度からため池(受益面積0.5ha未満)の調査業務を実施しているが、今後は農道、頭首工においても利用状況等の調査を進めて行く必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	管理委託契約相手を地元受益農家により、コストの削減を図っている。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		
市有ため池、県から管理を委託された農業用防災ダムなどであるため、市が負担することは適当である。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	本事業は、農業用施設の維持管理として必要不可欠であり、一定の予算確保の継続と一定規模を超える補修・復旧については災害復旧事業等補助事業による対応を図る。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。